

「龍北中学校の島ユムタ伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立龍北中学校

2 学年・人数

1学年（5人） 2学年（2人） 3学年（4人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年5月～10月 総合的な学習の時間（龍北中学校）
地域取材，物語作り，シマグチ指導 など
令和2年6月13日（土）地域取材（円集落）
令和2年7月11日（土）島ユムタ校外活動（円集落の公民館）

(2) 発表の日時・場所

令和2年11月1日（日）学習発表会（龍郷町立龍北中学校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

島ユムタ（しまゆむた）

(2) 由来

奄美大島の各地域で古来より使われている方言は、古事記や万葉集に出てくる古語が今も使われ、発音にも大きな特徴がある。奄美大島では、「シマグチ」「シマユムタ」「シマクトゥバ」と呼ばれている。このシマユムタを流暢に話せるのは、今やお年寄りや限られた人たちのみとなり、未来を担う若者たちへの伝承が重要である。

(3) 構成等

本校区には、安木屋場（あんきやば）、円（えん）、嘉渡（かど）、幾里（いくさと）、秋名（あきな）の5つの集落があり、方言は少しずつ違っている。それぞれの集落の伝統行事を題材とした劇のシナリオをつくり、それをシマグチで演じている。

5 保存会や地域との連携の具体

まず、各集落にある伝統行事を題材に生徒がオリジナルの劇（年度ごとに取材する集落が変わる）をつくる。その際、伝統行事について詳しい、各集落の高齢者に生徒が直接、取材を行った。さらに、取材をもとに生徒が作成したシナリオを、島ユムタ校外活動として、各集落の公民館にて、老人クラブの方々を指導者に招き、シマグチのシナリオに直していただいた。取材や島ユムタ校外活動については、事前に各集落区長や老人クラブ会長と連携を図り、指導者を紹介していただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

島ユムタ伝承活動は、平成16年から本年度で17回目となる伝統的な取組である。これまでは、生徒の興味・関心の高い題材をもとに劇を作っていたが、地域の方々から地域の伝統行事を題材にシマグチの劇を作れば、地域を知るよい機会になるのではないかという提案を頂いた。そこで、平成28年度から各集落にある伝統行事や昔話を題材に劇を作ることにした。本年度は、円集落に伝わる言い伝えを題材に劇を作り上げた。指導をいただいた老人クラブの方々をはじめ、保護者、地域の方々を学習発表会に招いて感想をいただいた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



地域取材



島ユムタ校外活動でのシマグチ指導



学習発表会



学習発表会

8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒】

- ・はじめは台詞を覚えることに精一杯でしたが、慣れてきたらその場の状況に合わせた動きを取り入れることもできたのでよかったです。
- ・ 円集落にはどんな歴史や文化があったのかを知ることができたので、島口で劇をすることができてよかったです。
- ・ 島口が難しかったけれど、みんなと協力しながらすばらしい劇をつくることができ、良い思い出になりました。円集落のことも知ることができてよかったです。

【職員】

- ・ 島ユムタ劇に取り組むことを通して、地域の方々との交流や地元の歴史にも触れることができ、大変意義深かったと思う。消滅の危機にある方言を、このような活動を通して学習し、発表することは、生徒はもちろん、保護者、地域の方も含め、よいことだと感じた。

【地域・保護者】

- ・ 方言を学ぶよい機会となりました。
- ・ 声は小さいところがあったが、方言で一生懸命演じていたところがよかったです。奥の深い考えさせられる劇でした。
- ・ 劇は、長編でセリフを覚えるのが大変だっただろうと思いつつ、一生懸命な様子が伝わってきました。生徒一人一人の様々な個性が光っていてよかったです。